

Press Release

報道関係者各位

令和6年11月18日
一般社団法人中部地域づくり協会

第19回マニフェスト大賞 特別審査委員賞 (秋吉 久美子選) を受賞 「守られる人から守る人へ」～未来へ繋ぐ防災啓発～

令和6年11月15日(金)に、虎ノ門ヒルズフォーラム(東京都港区)において「第19回マニフェスト大賞」の授賞式が行われ、当研究所が取り組んだ『「守られる人から守る人へ」～未来へ繋ぐ防災啓発～』が、特別審査委員賞<秋吉 久美子選>を受賞しました。

当研究所では、全国的に頻発する災害に対し、近年、大規模な災害に見舞われていない中部地域において災害から大切な命を守る地域社会を構築するためには、これから地域の守り手となる子供たちに、地域防災力の一端を担う意識を醸成する必要があります。そのため、令和元年度より、防災教育支援として、「守られる人から守る人へ」の意識変革を念頭に、愛知県、岐阜県を中心に小・中・高校、大学、特別支援学校において防災出前講座を継続して行ってきました。

浸水疑似体験VRや人気ゲームソフト「あつ森(あつまれ動物の森)」を活用した啓発動画など、独自で考案・制作した様々なコンテンツを用い、クイズ形式やタブレットの活用、防災に興味を持つきっかけ作りとして、ペットボトルなど身近のもので出来る防災科学実験を取り入れるなど、自分事として考える、記憶に残る講座とするため体験型、参加型として実施しています。実施校は、令和元年度(2019年度)の3校から延べ173校(7月31日現在・予定を含む)へと増加し、この講座の受講者は今年10月に1万人を超えました。

この度、この取り組みが評価され受賞の運びとなりました。今後も一人でも多くの命が守られる様、地域防災力の向上のため、この取り組みを推進していきたいと考えています。

(参考)

マニフェスト大賞は、地方自治体の議会、首長、市民等による、地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを募集し、表彰するものです。これにより、地域で努力を重ねる方々に栄誉を与え、さらなる意欲向上を期するとともに、優れた取り組みが広く知られ互いに競いあうようにまちづくりを進める「善政競争」の輪を拓けることを目的としています。

なお、今年の応募総数は、3,012件です。

【マニフェスト大賞 HP】

<http://www.local-manifesto.jp/manifestoaward/>

